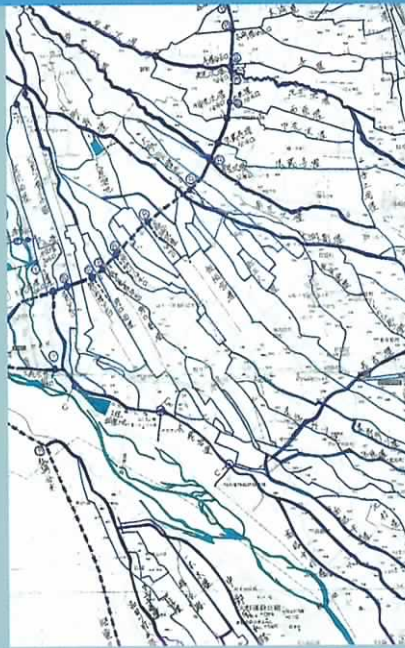


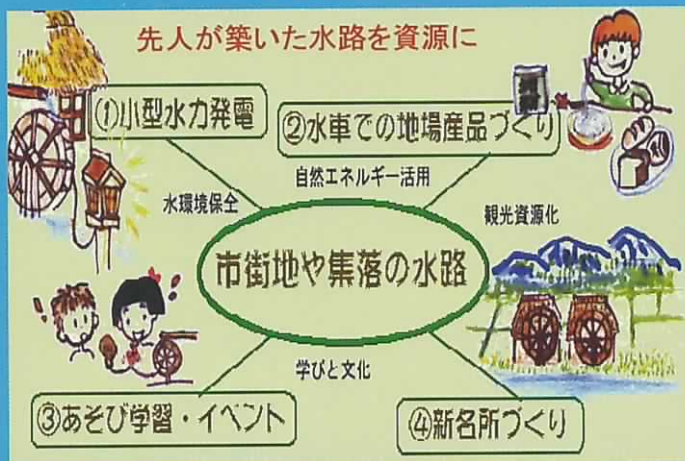
くるくるエコプロジェクトがめざす地域の姿



市内可住域を流れる水路は約
220
Km



「仕事おこしワークショップ」では、市内を網の目のように流れる農業用水路が新しい時代の資源として見出されました。その可能性を調べるための水路調査を行い、ワークショップ参加者の協力で市民実験を立ち上げることになりました。



当初描いた地域づくりの構想



水路調査を実施

個性的な3つの水力発電実験

技術的な課題や制度的な障壁を実践的に検証するために、国土交通省に利水申請を提出し、2003年10月に3つの実験施設を同時に立ち上げました。



ビニールハウスの電力補給

小西ミニ水力(廃止)



川上ミニ水力

家庭の電力の4割強を補給



駒沢ミニ水力

野猿対策電策で威力発揮